

株式会社テラプローブ 決算説明資料

2021年12月期 第2四半期

2021年12月期 第2四半期 業績説明

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、
比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、
原則として「-」と表示しています。

Copyright© 2021 Tera Probe, Inc. All Rights Reserved.

2021年12月期 第2四半期 業績サマリー

	CY2021		QoQ		CY2020 2Q累計	CY2021 2Q累計	YoY	
	億円	1Q	2Q	増減			%	増減
売上高	54.9	63.2	8.3	15%	91.8	118.1	26.3	29%
営業利益	5.8	10.2	4.4	76%	3.2	16.0	12.8	399%
	10.6%	16.2%	5.6pt	-	3.5%	13.6%	10.1pt	-
経常利益	5.3	9.9	4.7	88%	2.5	15.2	12.7	503%
	9.6%	15.7%	6.1pt	-	2.7%	12.8%	10.1pt	-
特別利益	2.0	1.5	△0.4	△23%	4.5	3.5	△1.1	△23%
特別損失	0.3	0.5	0.2	61%	0.1	0.7	0.6	555%
税金等調整前純損益	6.9	11.0	4.0	58%	6.9	17.9	11.0	159%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2.8	4.8	2.0	73%	2.8	7.6	4.8	169%
	US\$	104.26	108.97		108.53	106.67		
	NT\$	3.78	3.85		3.61	3.85		

○ 売上高：車載向けロジック製品の稼働回復と追加投資分寄与、ディスプレイコントローラの増加等、全体として堅調に推移

○ 営業利益、経常利益、純利益：
売上高の増加に伴い、いずれも増加

○ 売上高、営業利益、経常利益、純利益とも増加
(車載向け等ロジック製品の受託増加、PTI※からの事業譲受分寄与)

※ Powertech Technology Inc.

表左側：第1四半期と第2四半期の比較

売上高： 15%増加 (創業以来2番目の規模)

ロジック製品における

- ① 稼働回復
- ② 追加投資分の寄与

損益： 売上高の増加に伴い、営業、経常、純利益のいずれも増加

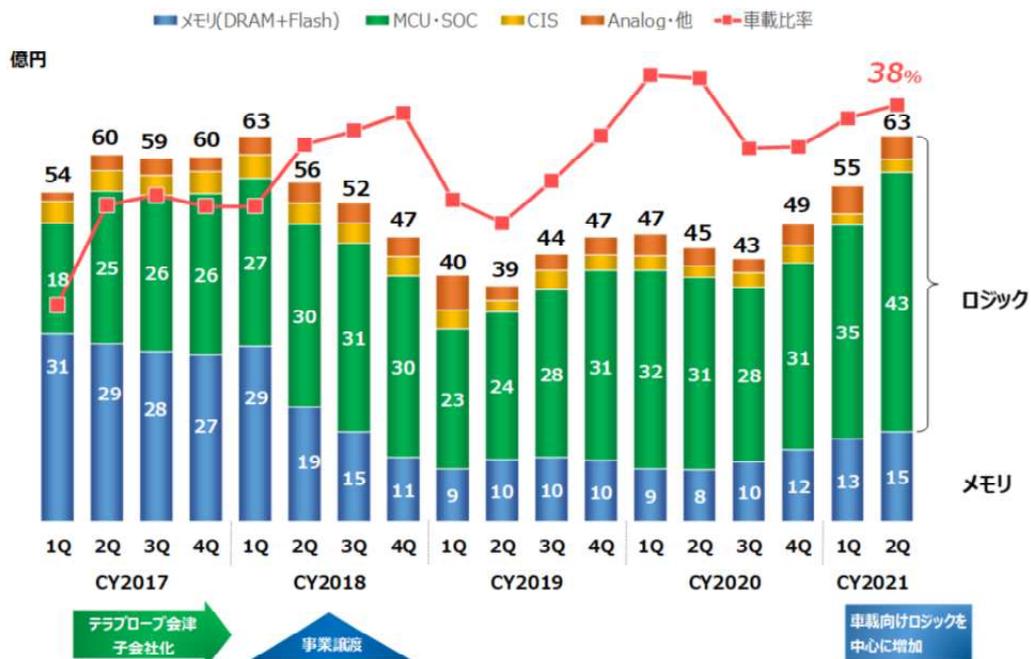
表右側：第2四半期(累計)の前年同期との比較

売上高： 29%増加

- 世界的な半導体需要の高まりと同期して売上高が回復
半導体産業の集中する台湾だけでなく、日本でも同様の動き
- 昨年10月に実施した、PTIからの事業譲受分も寄与

損益： 前年同期比についても、営業、経常、純利益のいずれも増加

連結売上高推移（製品別）



車載比率

38%まで回復

地域別車載比率も目標値に近い水準に到達

日本 47%（目標値：50%）

台湾 35%（" : 40%）

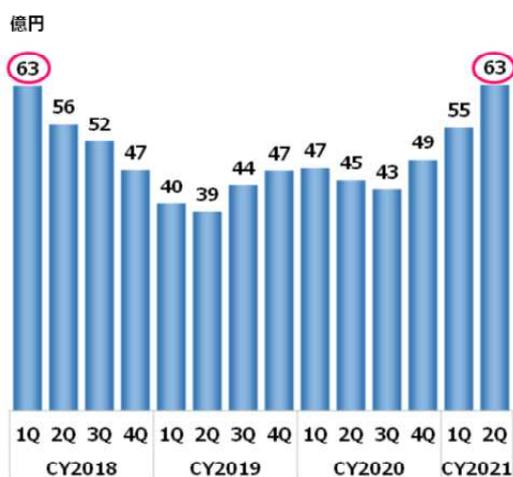
製品別比率

ロジック:

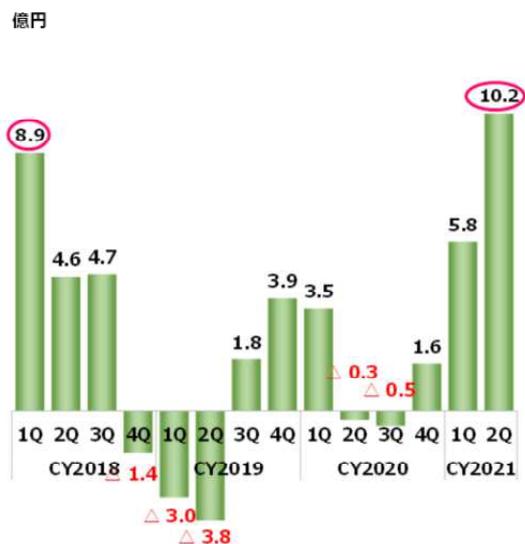
- 車載、民生ともに大きく回復
- センサー(CIS)については、プレイヤーや製品ミックスの変化で、増加なし
→ ただし、当社の経験、技術を生かす重点分野として注力し、
新規顧客との取引も始動
(売上高への寄与には、一定の期間が必要)

連結売上高営業利益の推移

売上高



営業利益



事業譲渡(※)前 (2018年 第1四半期) を上回る売上高、利益

売上高 (63.0 → 63.2 億円)
これまでに投資してきた設備の有効活用

営業利益 (8.9 → 10.2 億円)
昨年までに実施した構造改革による収益性改善

※: 2018年5月、マイクロンへの一部テスト事業の譲渡

2021年12月期 第2四半期 キャッシュフロー 財政状態

キャッシュフロー

	CY2021		QoQ		CY2020		YoY		
	億円	1~3月	4~6月	増減	%	1~6月	1~6月	増減	%
営業CF		25	25	1	3%	49	50	1	1%
投資CF		△ 16	△ 14	3	-	△ 39	△ 30	9	-
FCF		8	11	3	41%	10	20	10	94%
財務CF		△ 10	△ 4	6	-	1	△ 13	△ 15	-

主要B/S項目

	CY2021		QoQ		CY2020		YoY		
	億円	3月	6月	増減	%	6月	6月	増減	%
現預金		112	119	8	7%	112	119	7	7%
有形固定資産		377	371	△ 6	△2%	394	371	△ 23	△6%
総資産		563	575	12	2%	575	575	△ 1	△0%
有利子負債*		193	193	0	0%	223	193	△ 31	△14%
純資産		324	336	12	4%	308	336	28	9%

*有利子負債=借入金+リース債務

○ FCFプラスを継続。また、前四半期末と同水準の現預金を維持

キャッシュフロー、主要B/S項目

- 設備投資のコントロール
 - 業績の回復
- フリーキャッシュフローのプラスを継続
- 事業リスクを吸収できる財務体質を維持・強化

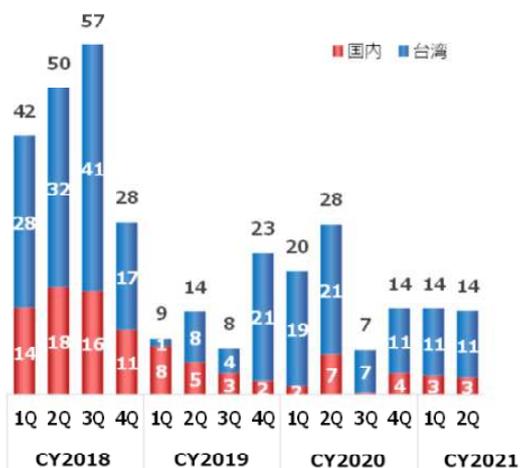
	2019/12	2020/12	2021/3	2021/6
自己資本比率	40.2%	42.5 %	42.6%	42.9%
D/Eレシオ (※)	0.49	0.35	0.34	0.30

※：(有利子負債 - 現預金) / 自己資本

設備投資及び減価償却

設備投資

億円

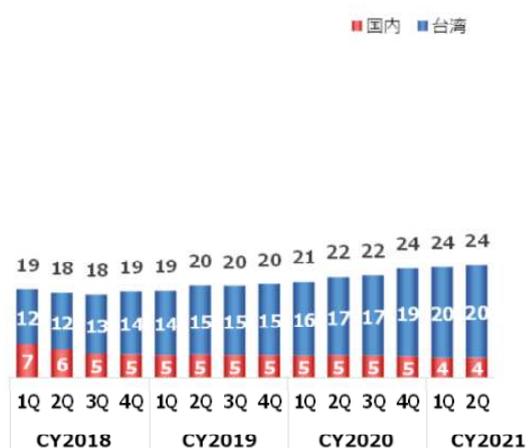


○ 需要見込みに対応した投資を継続

○ 償却負担は横ばい

減価償却

億円



設備投資

検収ベースで計上

- 減価償却負担も考慮しつつ、
- 顧客とのパートナーシップにより、最適かつ計画的な投資を継続

2021年12月期 第3四半期

業績予想

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、
比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、
原則として「-」と表示しています。

Copyright© 2021 Tera Probe, Inc. All Rights Reserved.

2021年12月期 第3四半期 業績予想

	CY2021		QoQ		CY2020		YoY	
	億円	3Q	増減	%	3Q累計	3Q累計	増減	%
売上高	63.2	64.9	1.7	3%	134.7	183.0	48.3	36%
営業利益	10.2	11.0	0.7	7%	2.7	27.0	24.3	908%
	16.2%	16.9%	0.7pt	-	2.0%	14.8%	12.8pt	-
経常利益	9.9	10.6	0.7	7%	0.9	25.8	24.9	-
	15.7%	16.4%	0.7pt	-	0.7%	14.1%	13.4pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.8	4.4	△0.5	△10%	1.2	12.0	10.8	916%
	US\$ 108.97	109.48			107.94	107.63		
	NT\$ 3.85	3.85			3.61	3.85		

- 売上高：車載向けLogic製品が引き続き堅調な需要を維持
- 営業利益、経常利益：売上高の増加に伴い、いずれも増加
- 純利益：固定資産売却益や、過年度法人税等戻入の影響がなくなるため減少

売上高： 前四半期比 3%増の見込

2Qに続き、事業譲渡後における、四半期ベース最大
車載向けロジック製品の堅調な需要が継続し、

- ① 高稼働の維持
- ② 段階的に投資してきた設備が寄与

損益： 売上高の増加に伴い、前四半期、前年同期のいずれに対しても改善見込

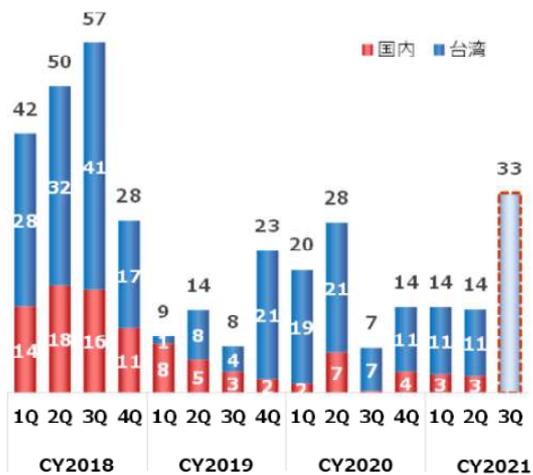
純利益が、前四半期比で減少するのは、2Qの特殊要因が消滅

- ① 固定資産売却益
- ② 過年度法人税等の戻入

設備投資及び減価償却

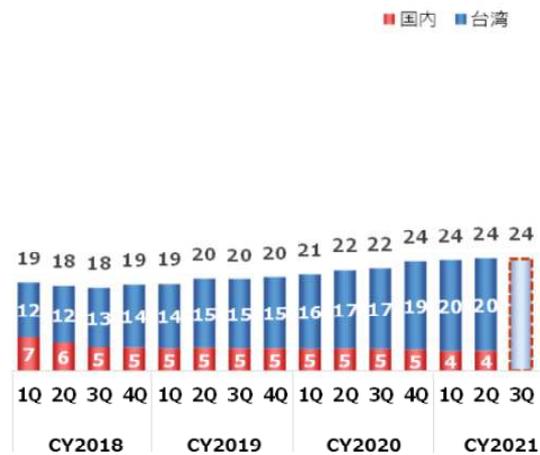
設備投資

億円



減価償却

億円

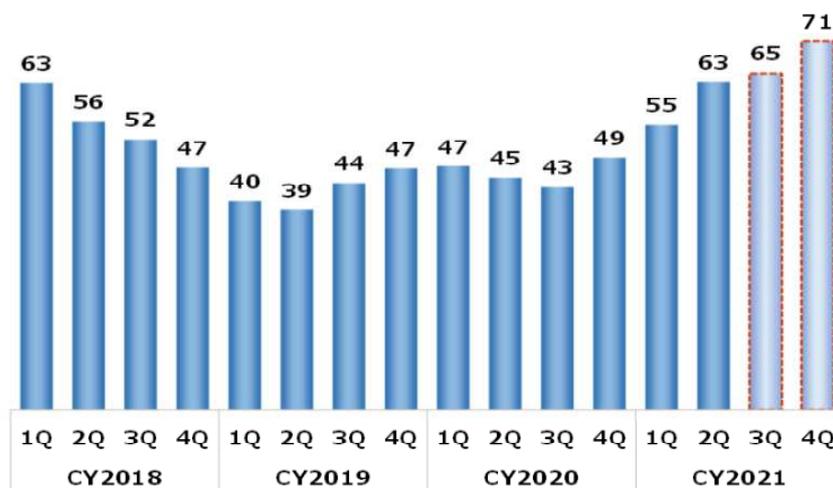


○ 需要見込みに対応し、投資額は増加、償却額は同水準を継続

- 半導体需要の高まり
→ 戦略分野に対し重点的に投資を実施し、成長機会の確実な取り込み
- 投資リスク低減
→ 台湾子会社と、使用する先端テスターの共用化を推進

連結売上高予想

億円



- 車載向けやフラッシュメモリコントローラなどロジック製品の受託量増加
- 一段と強くなる需要の中で成長分野に対する設備投資の実施

四半期、年間ともに創業以来最大の売上高に

ロジック製品向けの新規投資設備が、車載向けやフラッシュメモリコントローラなどの受託量増加に寄与

一段と強くなる需要の中で、成長分野に対する設備投資を、適切な規模でタイムリーに実施

トピックス

トピックス

- ① **主要国間の貿易摩擦に起因する
サプライ・チェーン変化の影響は限定的**
 - － 下期以降は安定化の見通し

- ② **コロナウイルス感染拡大による生産調整の局面は終了**
 - － 半導体不足の影響もあり、更に需要は強いが、
今後は、需要のオーバーシュートによる在庫リスクに留意

- ③ **中国子会社は一旦ペンディング**
 - － 事業環境の見極めには、なお時間が必要
 - － 当面は、既存拠点における顧客ニーズへの対応に注力

- ④ **PTIテスト事業の移管は完了**
 - － オペレーション、顧客リレーションともに定着し、業績貢献

これまで変動もしくはリスク要因と考えていたものの影響が、
限定的、または、一定の目途

ただし、②の需要のオーバーシュートによる在庫リスクは、
投資リスクや、稼働リスクにも直結するため、最大限の注意を継続

株主還元について

- **重視するポイント**
 - 設備投資、財務体質 及び 収益状況のバランス
 - 配当の継続的な実行
- **当期についての状況と方針**

堅調な需要と、投資設備の寄与

売上高の拡大と
利益水準の改善



事業環境の変動リスクと
配当の継続性への留意

- ➡ **引き続き、当期の業績の確保と、基盤強化に注力し、次年度以降の業績が一定程度見込めた段階で、利益配当について検討。**

基本的な考え方

株主還元を最重要の課題と認識

- 成長とリスクとの適切なバランスを考慮
- 安定的・継続的な配当の実行が目標

当期の状況

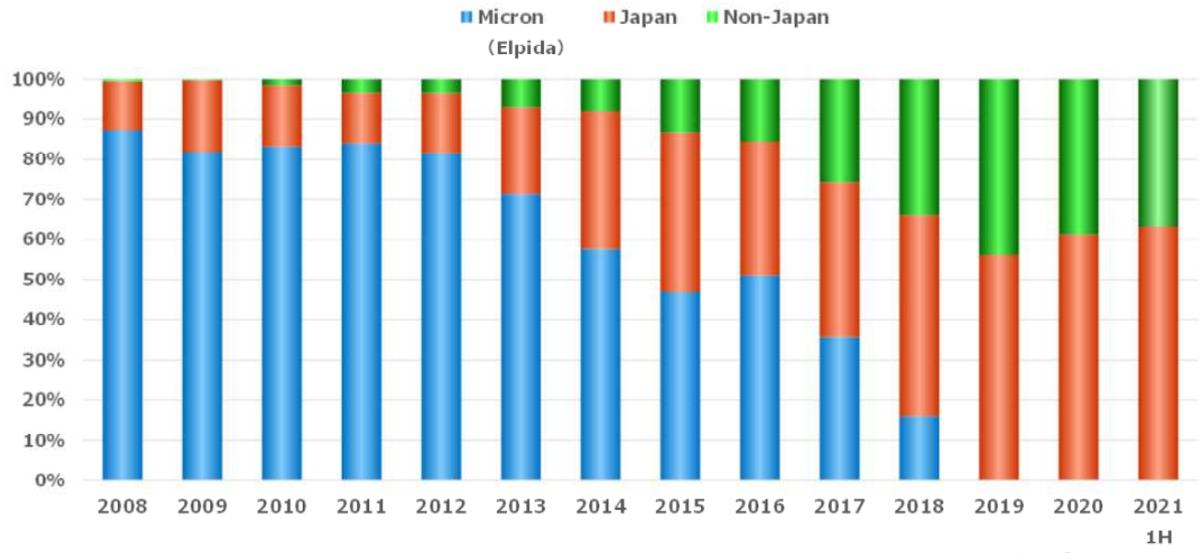
- 売上高、利益ともに、創業以来、あるいは、それに近い水準
- 半導体業界の特性として、事業環境の変動リスクへの十分な留意が必要

当期の利益配当について

- 当期業績の確保と、来期以降の環境変化に耐えられる事業基盤の強化に注力
- 次年度以降の業績が一定程度見込めた段階で、水準も含めて検討

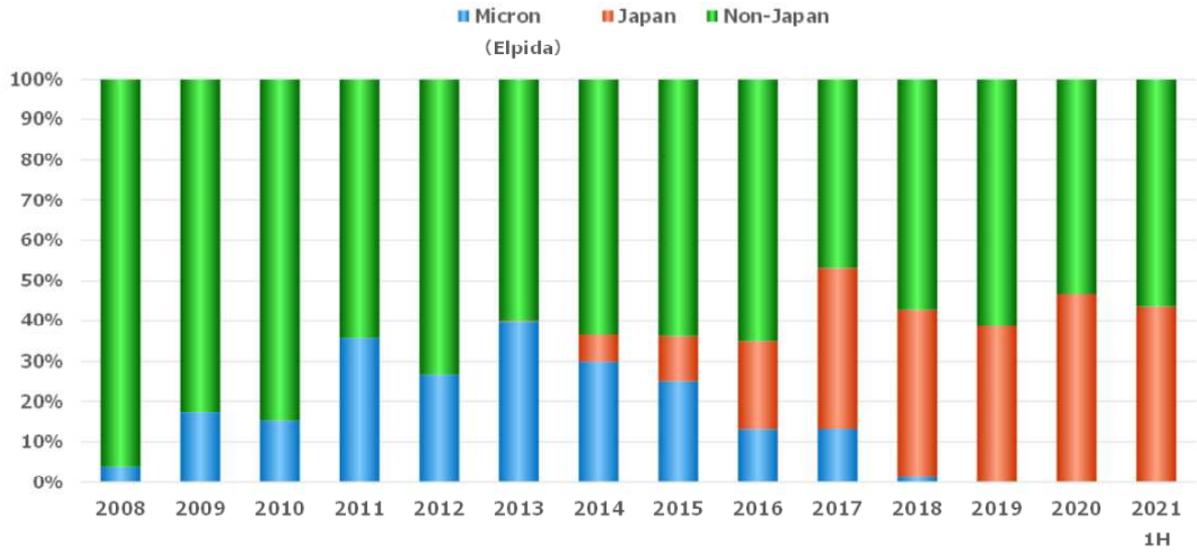
Appendix

顧客国別 売上高構成比 (TPJ & TPA)



TPJ: テラプローブ
 TPA: テラプローブ会津

顧客国別 売上高構成比 (TPW)



TPW: TeraPower Technology Inc.

アプリケーション別売上高推移

(億円)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021 1H
産業・医療	6.0	6.8	9.3	10.3	12.3	9.9
車載	28.8	52.3	73.5	52.5	68.8	44.4
コンシューマ	153.1	119.4	129.0	98.4	98.7	62.3
他			5.7	7.8	3.6	1.5
計	187.9	178.5	217.4	169.1	183.4	118.1

	2016	2017	2018	2019	2020	2021 1H
産業・医療	3%	4%	4%	6%	7%	8%
車載	15%	29%	34%	31%	38%	38%
コンシューマ	81%	67%	59%	58%	54%	53%
他			3%	5%	2%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ（以下、弊社）の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料の一部には監査法人の監査やレビューの対象外の内容が含まれております。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧ください。投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ 財務部

TEL: 045-476-5711

E-mail: ir@teraprobe.com

URL <https://www.teraprobe.com/>